

授 業 目 名	人間発達学		授 業 形 態	講 義
			配 当 学 期	1 年(前期)
担 当 教 員 名	山田 真輔・開発 基文		単 位 数	1 単位
			時 間 数	30 時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 人間の母胎内での発生から高齢者となるまでを、生物学的・社会的・心理学的発達と、その発達に影響する環境・家族等との相互作用まで知ることを目的とする。</p> <p>〔学習目標〕 新生児期からの身体、運動発達を理解する 反射と発達指標を覚える 歩行獲得のプロセスを理解する</p>			
授 業 回 数	授業の内容			
第 1 回	発達概念	発達学の意義、発達期の区分、発達の定義や原則		[山田]
第 2 回	姿勢反射・反応	各反射・反応の概要、意義、中枢、出現、統合時期		[山田]
第 3 回	運動発達 0～3 か月	3 か月までの姿勢の観察、獲得すべき課題		[山田]
第 4 回	運動発達 4～6 か月	6 か月までの姿勢の観察、獲得すべき課題		[山田]
第 5 回	運動発達 7～9 か月	9 か月までの姿勢の観察、獲得すべき課題		[山田]
第 6 回	運動発達 10～12 か月	12 か月までの姿勢の観察、獲得すべき課題		[山田]
第 7 回	運動発達 13～18 か月	18 か月までの姿勢の観察、獲得すべき課題		[山田]
第 8 回	上肢機能の発達	姿勢発達と上肢発達の関係性、目と手の協調について		[山田]
第 9 回	6 歳までの発達	18 か月までのまとめと 6 歳までの課題		[山田]
第 10 回	発達の検査	国試に出題される頻度の高い検査の紹介		[山田]
第 11 回	ADL の発達①	エッセンス 遊び 食事		[開発]
第 12 回	ADL の発達②	排泄 更衣		[開発]
第 13 回	感覚・知覚・認知・社会性の発達①	感覚・知覚・認知		[開発]
第 14 回	感覚・知覚・認知・社会性の発達②	手と目の協調 言語 心の理論		[開発]
第 15 回	学童・青年・成人・老年期の発達			[開発]
評 価 方 法	<p>期末試験にて評価を行う。[山田] 期末試験はありません。課題(講義まとめノート)にて評価を行います[開発]</p>			
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 イラストでわかる人間発達学 医歯薬出版			
履 修 上 の 留 意 点	積極的な参加を期待します			
メ ッ セ ー ジ	人間発達学は小児疾患に限らず、すべての疾患のリハビリテーションの根底となります 頑張ってください			